

令和8年度 一般選抜（二期） 入学試験問題

【 情報Ⅰ 】

※科目【英語（英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ）】、【国語（現代の国語）】、【数学Ⅰ、数学Ⅱ（場合の数と確率のみ）】、【情報Ⅰ】、【簿記・会計】の5科目の中から出願時に届け出た2科目を、解答してください（受験票に科目名を記載しています）。

※試験時間は、2科目で100分です。

※この問題冊子は【情報Ⅰ】です。

Ⅰ. 注意事項

- (1) 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
- (2) 出題科目、及びページは下表のとおりです。

出題科目	ページ
情報Ⅰ	1 ~ 5

- (3) 問題冊子の印刷不鮮明、ページ落丁、乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
- (4) 問題の解答は、すべて別に配布する解答用紙に記入してください。
- (5) 解答用紙には、解答欄以外に次の記入欄があるので、それぞれ正しく記入してください。
 - ① 受験番号欄
受験番号を記入してください。
 - ② 氏名欄
氏名・フリガナを記入してください。

Ⅱ. 解答上の注意

＜情報Ⅰ＞について

- (1) 解答欄に選択肢の番号を記入する場合は、(1) (2) (3) (4)ではなく、数字のみ
1 2 3 4で記入してください。
- (2) 解答欄に選択肢の記号を記入する場合は、(a) (b) (c) (d) (e)ではなく、記号のみ
a b c d eで記入してください。

九州情報大学

情報 I

第 1 問 次の各問の空欄に入れるのに最も適当なものを、(1)～(4) 中から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

1) 次のマルウェアの中で、コンピュータをロックし元に戻すための身代金を要求するものを () という。

- | | |
|-------------|----------------|
| (1) ワーム | (2) コンピュータウイルス |
| (3) ランサムウェア | (4) トロイの木馬 |

2) 情報の内容が確かで信用できる度合いは () である。

- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| (1) 真実性 | (2) 信用性 | (3) 信憑性 | (4) 正確性 |
|---------|---------|---------|---------|

3) インターネット上のコミュニケーションの特徴に当てはまらないものは () である。

- | | | | |
|---------|---------|---------|----------|
| (1) 匿名性 | (2) 即時性 | (3) 利便性 | (4) 一方向性 |
|---------|---------|---------|----------|

4) 身のまわりにある機器の多くに機能を特化したコンピュータが入っている。このような機器を、() という。

- | | | | |
|----------|----------|----------|------------|
| (1) 電子タグ | (2) 情報機器 | (3) 集積回路 | (4) 組み込み機器 |
|----------|----------|----------|------------|

5) 問題解決のための処理手順をコンピュータが処理できるようにしたものを () という。

- | | |
|------------|-------------|
| (1) アルゴリズム | (2) プログラム |
| (3) 流れ図 | (4) フローチャート |

- 6) プログラム内で複数の変数をひとかたまりとして一つの変数のように扱う配列において、格納されている値の順番を示す値を（ ）と呼ぶ。

(1) リスト (2) 座標 (3) ポインタ (4) 添字

- 7) さいころの目のように、どの数値も等しい確率で現れる乱数を（ ）乱数という。

(1) 均一 (2) 平均 (3) 一応 (4) 一様

- 8) インターネットで一般的に利用されている通信規約（プロトコル）の総称を（ ）という。

(1) WAN (2) TCP/IP (3) LAN (4) パケット

- 9) 状況や文脈から独立した数字や記号などコンピュータで処理できる形式となったものは（ ）である。

(1) 知識 (2) 知恵 (3) 情報 (4) データ

- 10) 氏名、住所、顔写真などその情報のみで、その人が誰かを特定できる情報を（ ）という。

(1) 公開情報 (2) 個人情報 (3) 情報銀行 (4) 登録情報

- 11) 著作者の名誉を守るための権利で、公表権、氏名表示権、同一性保持権を含むものは（ ）である。

(1) 著作者人格権 (2) 公衆送信権
(3) 複製権 (4) 展示権

12) 看板や地図での案内などに用いられている記号で、場所や利用する人の特性についての情報を抽象化した記号として（ ）がある。

- (1) 数式 (2) ピクトグラム (3) モデル (4) グラフ

13) プレゼンテーションを行う際には、できるだけ本番に近い形での予行演習、（ ）をすることが望ましい。

- (1) リハーサル (2) イメージ (3) モデル (4) デザイン

14) ハードディスクや SSD などのストレージは、メインメモリと比較してアクセス速度が（ ）が安価で大量のデータを記録可能である。

- (1) 遅い (2) 近い (3) 早い (4) 遠い

15) プログラムの中で演算に用いる記号、演算子には、いくつか種類があり、加減乗除をするのは（ ）演算子である。

- (1) 比較・関係 (2) 論理 (3) 算術 (4) 代入

第 2 問 次の各問の空欄に入れるのに最も適当なものを、解答群の中から選び、その記号を解答用紙に記入しなさい。

- 1) (1) は、送信者が平文を元に作成し、平文に(2)して送ることで(3)はデータが(4)によって作成されたこと、途中でデータが(5)されていないことを検証できる。

【解答群】 (a) デジタル署名 (b) 改竄 (c) 添付
(d) 受信者 (e) 送信者本人

- 2) 収集した情報を視覚的な表現でわかりやすくする方法として、表や(1)がある。
(2) ソフトウェアの多くは、データの範囲と作成したい(1)の種類を指定すれば自動的に作成する。このように(3)をすると、文章や箇条書きでは把握しづらい(4)を分析しやすくなる。複数のデータ項目を1つの(1)にプロットする際には、描画に使用する図形のそれぞれが何を表現しているか(5)という形で表示するとわかりやすい。

【解答群】 (a) 凡例 (b) グラフ (c) データの傾向
(d) 情報の可視化 (e) 表計算

- 3) コンピュータのハードウェアの構成として、コンピュータに外部の情報を取り込むための(1), その時点で実行するプログラムやデータを一時的に格納する(2), コンピュータ内部の情報を取り出すための(3)などがある。(1)の具体例としては、(4)があり、(3)の具体例としては、(5)がある。

【解答群】 (a) スピーカ (b) 入力装置 (c) 出力装置
(d) キーボード (e) 主記憶装置

第 3 問 問題解決において解決案を立案する際に，自分一人で考える場合，複数人で考える場合，生成 AI を用いる場合のそれぞれの場合について利点・欠点について説明しなさい。

受 験 番 号		フリガナ	
		氏 名	

第 1 問

1		2		3		4		5	
6		7		8		9		10	
11		12		13		14		15	

第 2 問

1)	1		2		3		4		5	
2)	1		2		3		4		5	
3)	1		2		3		4		5	

第 3 問

情報Ⅰ 二期 正解

第1問

1) 3	2) 3	3) 4	4) 4	5) 2
6) 4	7) 4	8) 2	9) 4	10) 2
11) 1	12) 2	13) 1	14) 1	15) 3

第2問

1) 1. a	2. c	3. d	4. e	5. b
2) 1. b	2. e	3. d	4. c	5. a
3) 1. b	2. e	3. c	4. d	5. a

第3問： 問題解決において解決案を立案する際に、自分一人で考える場合、複数人で考える場合、生成 AI を用いる場合のそれぞれの場合について利点・欠点について説明しなさい。